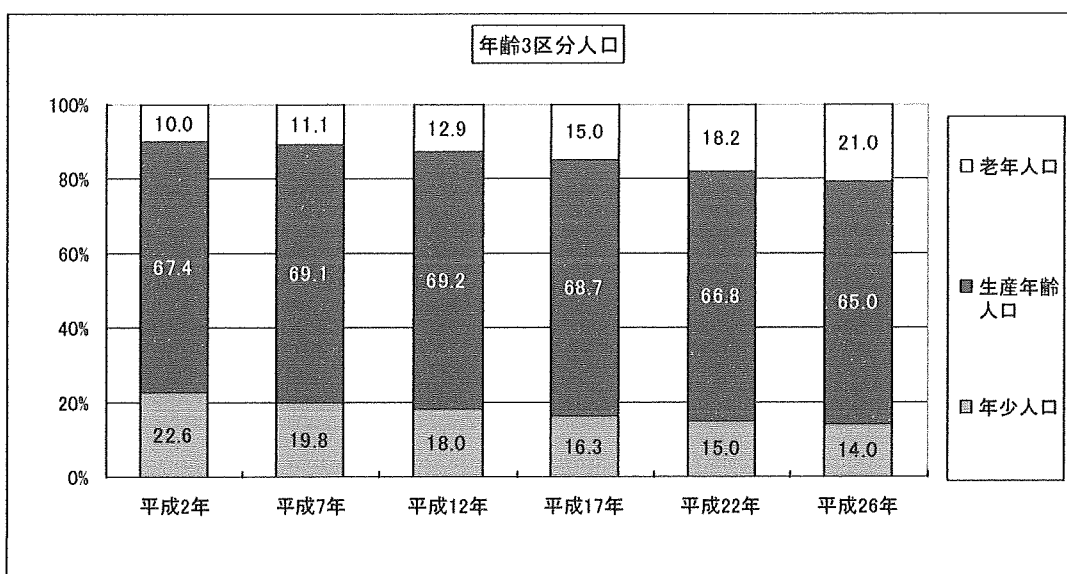
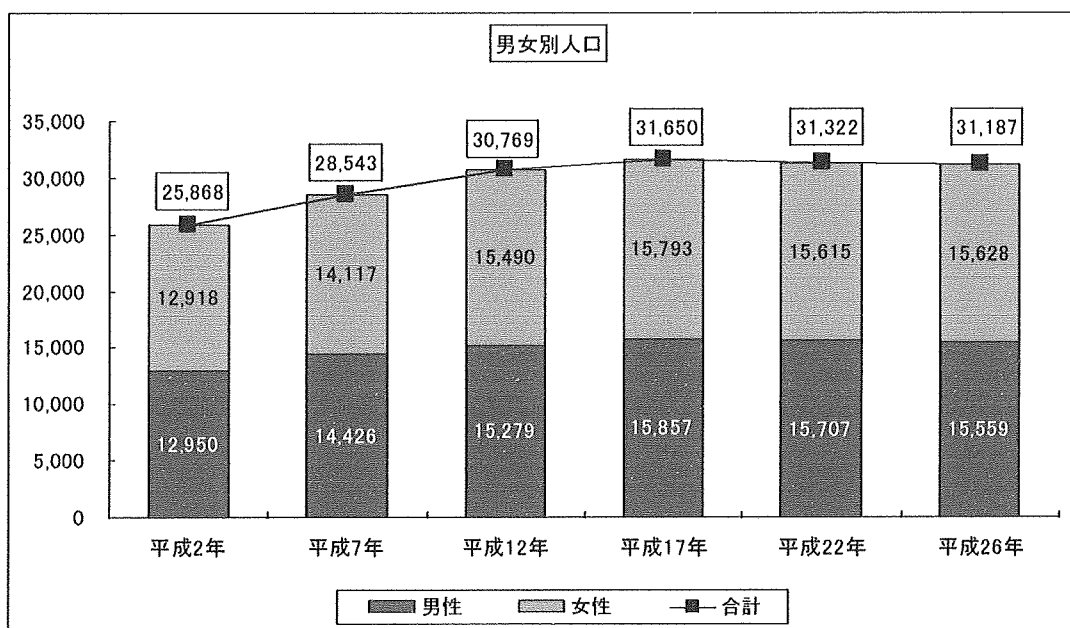


第2章 中央市の概況

1. 人口等の推移

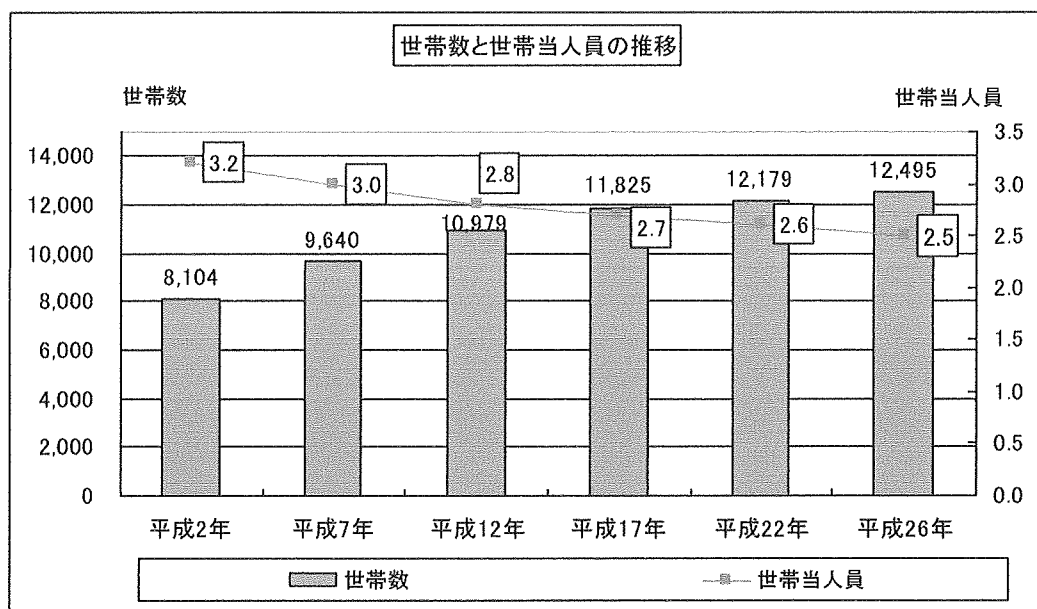
1) 人口

総人口は増加傾向で推移していましたが、平成17年の31,650人をピークに減少傾向に転じています。また、年齢三区分別の人口構成では、「老年人口（65歳以上）」の増加が目立つ一方「生産年齢人口（15～65歳）」「年少人口（14歳以下）」の減少が続いています。



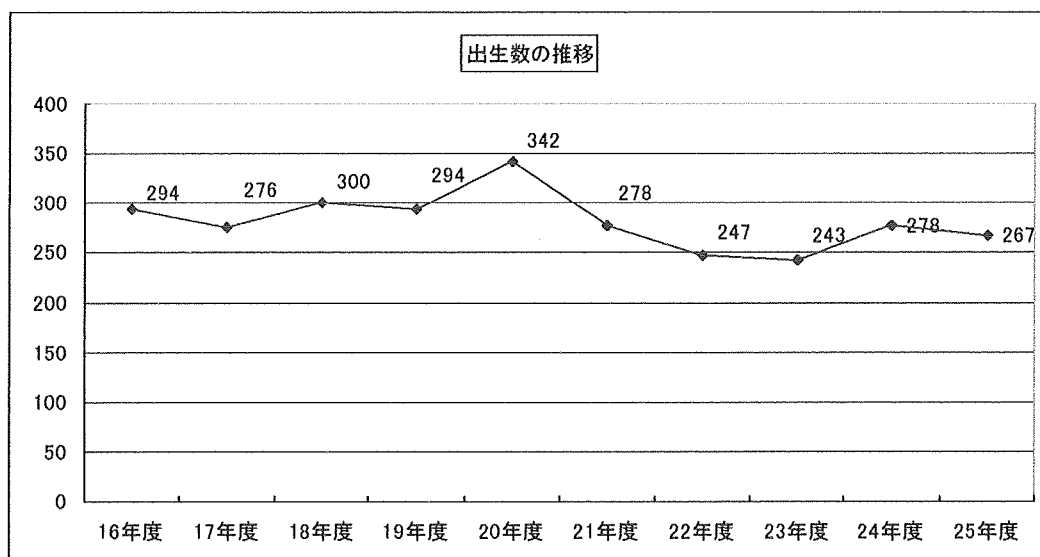
2) 世帯

世帯数は増加傾向にあり、平成26年は12,495世帯となっています。一方、世帯当りの人員は減少傾向にあり、平成26年は2.5人となり、家族数の減少が続いています。



3) 出生数

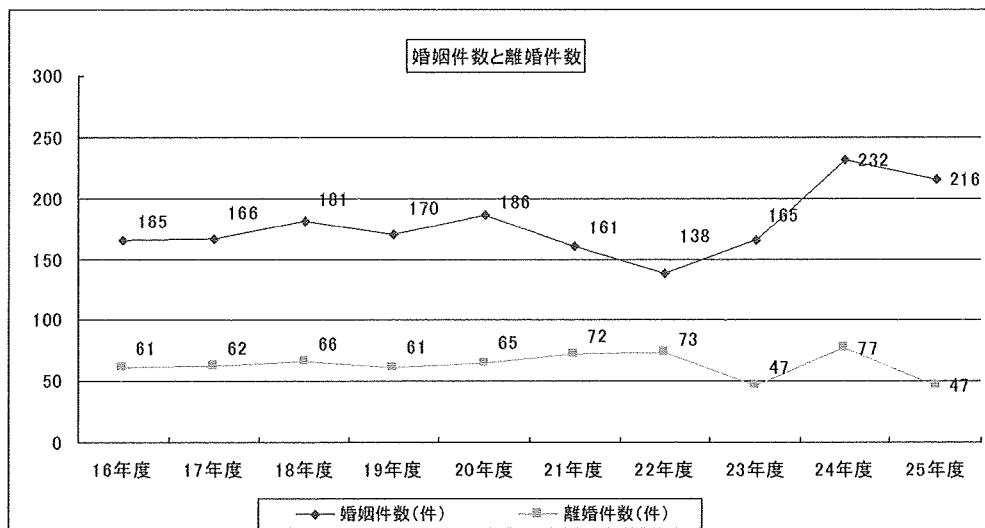
出生数は、増加基調の推移でしたが、平成20年度の342人から減少傾向に転じ、ここ5年間は平均260人程度での推移となっています。



4) 結婚・離婚

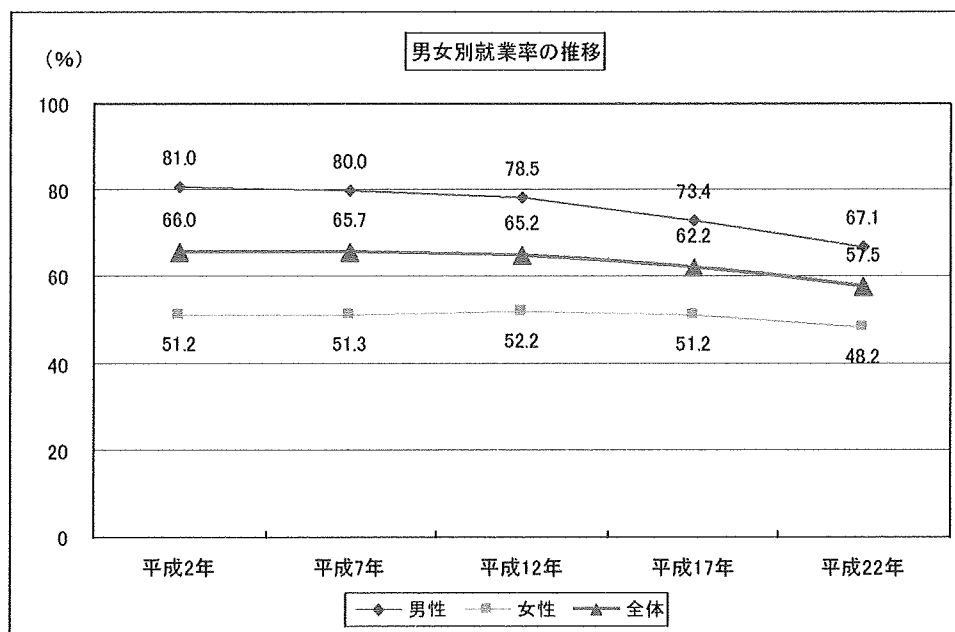
婚姻件数は、平成 21 年度まで 170 件前後での横ばいで推移していましたが、平成 22 年度に 138 件と低下した後、再び増加傾向に転じています。

一方、離婚件数は 60 ～70 件台で推移していましたが、23 年と 25 年では 50 件以下となっています。



5) 就業率

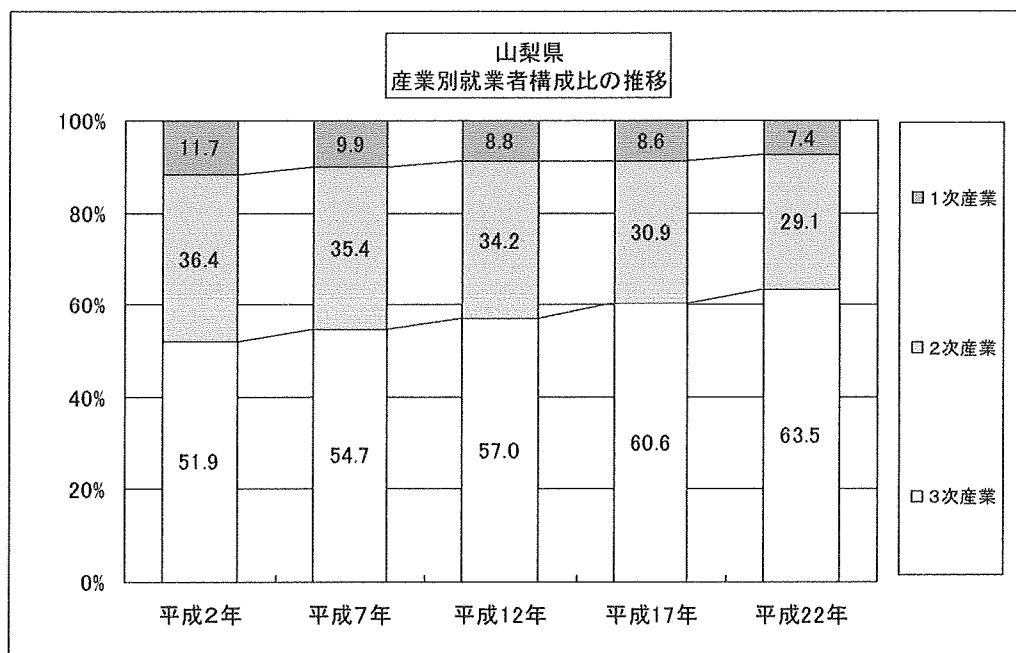
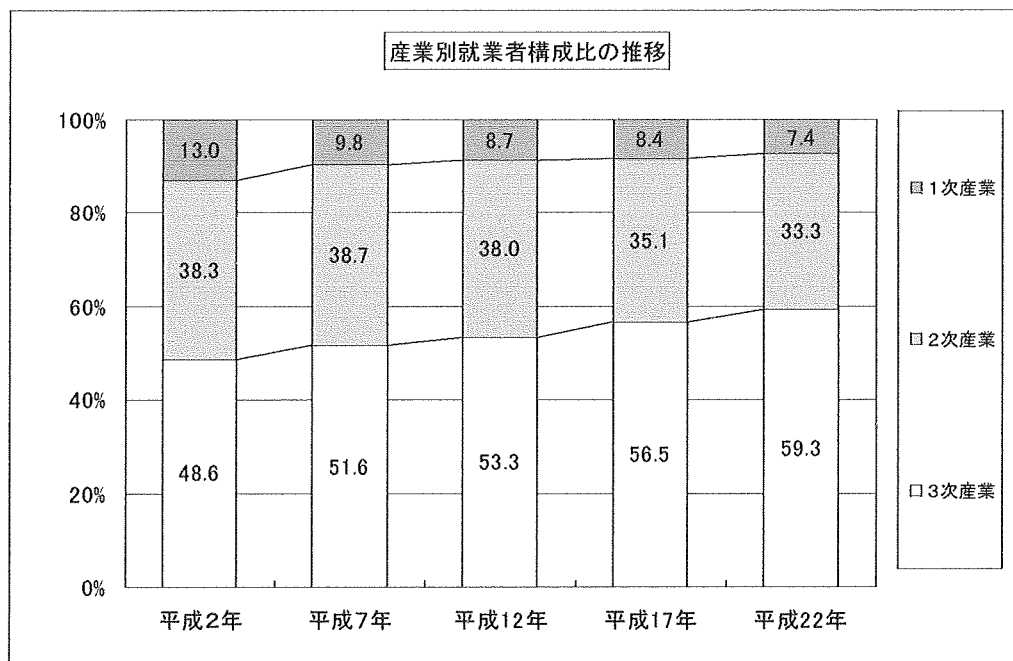
就業率は、平成 12 年以降に男性の就業率が低下傾向になり、全体の就業率を下げる結果となっています。女性は 50%程度での推移が続いています。



5) 産業別就業者構成比の推移

産業別の就業者構成比をみると、第1次産業および第2次産業の減少と第3次産業の増加が顕著に見られます。

山梨県全体と比較すると、第2次産業の減少が緩やかで、第3次産業の増加が少ない傾向になっています。



2. 保育サービスの状況

1) 保育園・認定こども園の状況

本市には9カ所の保育園・認定こども園があり、乳児保育は公立4カ所と民間3カ所で実施され、19時までの延長保育は9カ所で実施されています。なお、休日保育を実施している施設はありません。

平成26年4月1日現在

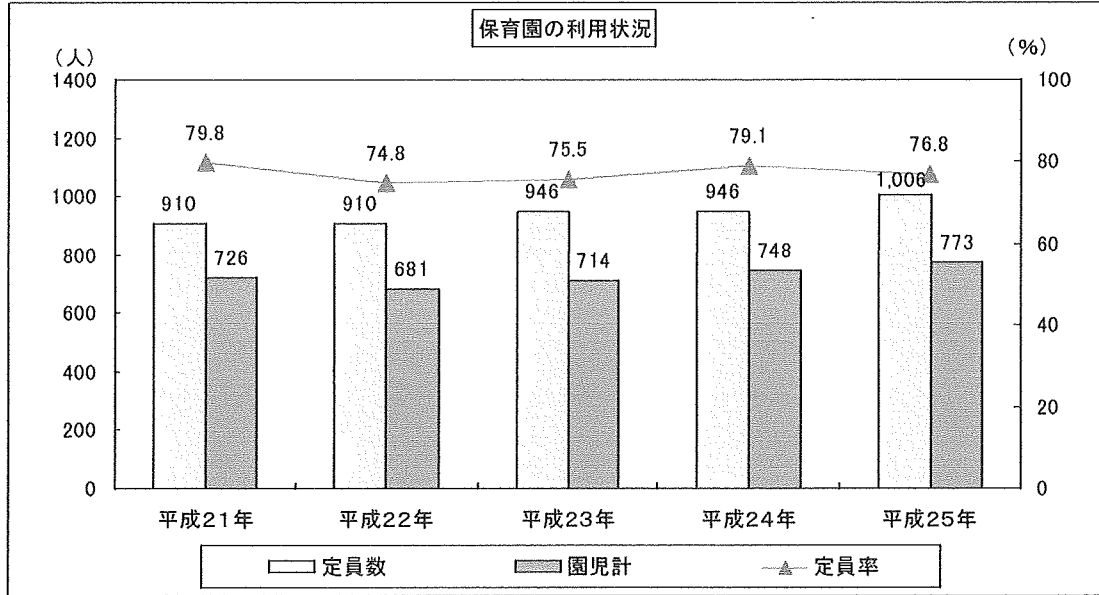
施設名	玉穂 保育園	田富第一 保育園	田富第二 保育園	田富第三 保育園	田富北 保育園	豊富 保育園
住所	成島2387-2	布施3015	西花輪2002	東花輪1173	山之神22-59	大鳥居3790
開所年度	昭和28年	昭和29年	昭和47年	昭和53年	昭和58年	昭和43年
保育時間帯 (時間外・延長含む)	7:30～19:00	7:30～19:00	7:30～19:00	7:30～19:00	7:30～19:00	7:30～19:00
乳児保育の有無	あり (6か月以上)	あり (6か月以上)	あり (6か月以上)	あり (6か月以上)	なし	なし
休日保育の有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし
延長保育の有無	あり (18:30～19:00)	あり (18:30～19:00)	あり (18:30～19:00)	あり (18:30～19:00)	あり (18:30～19:00)	あり (18:30～19:00)
職員数合計	26	21	13	17	15	12
うち保育士	18	16	9	11	11	8

平成26年4月1日現在

施設名	社会福祉法人 成島 まみい保育園	学校法人中沢学園 認定こども園		学校法人井口学園 認定こども園	
		みかさ保育園	田富みかさ 幼稚園	わかば ナーサリー	わかば幼稚園
住所	成島1072-1	臼井阿原813-6	臼井阿原813-6	井之口937-2	井之口937-2
開所年度	平成13年	平成23年	昭和55年	平成25年	昭和54年
保育時間帯 (時間外・延長含む)	7:30～19:00	7:30～19:00	9:00～15:00	7:30～19:00	9:00～15:00
乳児保育の有無	あり (2か月以上)	あり (6か月以上)	なし	あり (6か月以上)	なし
休日保育の有無	なし	なし	なし	なし	なし
延長保育の有無	あり (18:30～19:00)	あり (18:30～19:00)	なし	あり (18:30～19:00)	なし
職員数合計	31	13	14	13	23
うち保育士・教諭数	24	9	8	11	19

2) 保育園の利用状況

保育園の定員数は、平成21年の910人から平成25年には1,006人へと増員しています。園児数は、受け入れ年齢の引き下げもあり、700人台で、年々増加傾向になっています。また、定員率についてはここ5年間75～80%の間で推移しています。



※定員率＝園児数／定員数×100

3) 児童館の状況

市内には 11 カ所の児童館があり、田富地区 7 カ所、玉穂地区 3 カ所、豊富地区 1 カ所となっています。

また、平成 25 年度の年間利用者数は、11 カ所をあわせて延べ 54,298 人となっています。

施設名	玉穂中央児童館	玉穂北部児童館	玉穂西部児童館	田富中央児童館	田富わんぱく児童館	田富ひばり児童館
住所	成島3512-2	井之口1139-1	下三條133	布施2382	東花輪1351-1	山之神1156-119
開所年	昭和63年4月	平成元年4月	平成2年3月	昭和54年4月	昭和56年4月	昭和57年3月
開館時間	午前10時～午後6時	午前10時～午後6時	午前10時～午後6時	午前10時～午後6時	午前10時～午後6時	午前10時～午後6時
年間利用者数(25年度)	2,724	5,139	2,562	1,853	6,633	11,312

施設名	田富杉の子児童館	田富ひまわり児童館	田富つくし児童館	田富すみれ児童館	豊富児童館
住所	西花輪1415-3	東花輪1119-26	藤巻2303-2	布施242-3	大鳥居3770
開所年度	平成元年1月	平成元年8月	平成5年4月	平成10年4月	平成4年7月
開館時間	午前10時～午後6時	午前10時～午後6時	午前10時～午後6時	午前10時～午後6時	午前10時～午後6時
年間利用者数(25年度)	1,987	8,887	1,847	1,457	9,897

4) 放課後児童クラブの状況

市内には、小学生を対象とした放課後児童クラブが8カ所あり、田富地区4カ所、玉穂地区3カ所、豊富地区1カ所となっています。主に市立児童館を活用して実施していますが、田富地区で社会福祉法人ひとふさの葡萄による委託事業として行っているところもあります。

名称	玉穂中央児童館 放課後児童クラブ	玉穂北部児童館 放課後児童クラブ	玉穂西部児童館 放課後児童クラブ	田富中央児童館 放課後児童クラブ
住所	成島3512-2	井之口1139-1	下三條133	布施2382
対象	保護者が就労等で昼間 家庭にいない小学生	保護者が就労等で昼間 家庭にいない小学生	保護者が就労等で昼間 家庭にいない小学生	保護者が就労等で昼間 家庭にいない小学生
開所年度	平成10年4月	平成16年4月	平成17年1月	平成19年4月
利用時間	○平日(月～金曜日) 午後1時～6時30分 ○学校の休業日 午前8時～午後6時30分	○平日(月～金曜日) 午後1時～6時30分 ○学校の休業日 午前8時～午後6時30分	○平日(月～金曜日) 午後1時～6時30分 ○学校の休業日 午前8時～午後6時30分	○平日(月～金曜日) 午後1時～6時30分 ○学校の休業日 午前8時～午後6時30分
会費	年額12,000円	年額12,000円	年額12,000円	年額12,000円

名称	田富杉の子児童館 放課後児童クラブ	田富すみれ児童館 放課後児童クラブ	豊富保健センター 放課後児童クラブ	社会福祉法人ひとふさの 葡萄 またあした
住所	西花輪1415-3	布施242-3	大鳥居3770	山之神1522-83
対象	保護者が就労等で昼間 家庭にいない小学生	保護者が就労等で昼間 家庭にいない小学生	保護者が就労等で昼間 家庭にいない小学生	保護者が就労等で昼間 家庭にいない小学生
開所年度	平成17年1月	平成10年4月	平成16年7月	平成16年10月
利用時間	○平日(月～金曜日) 午後1時～6時30分 ○学校の休業日 午前8時～午後6時30分	○平日(月～金曜日) 午後1時～6時30分 ○学校の休業日 午前8時～午後6時30分	○平日(月～金曜日) 午後1時～6時30分 ○学校の休業日 午前8時～午後6時30分	○平日(月～金曜日) 午後0時～午後7時 ○土曜日 年間15日開館 ○学校の休業日 午前8時～午後7時
会費	年額12,000円	年額12,000円	年額12,000円	入会金 200円 保険料 1,800円 利用料 内容により異なる

5) 子育てサークルなどの状況

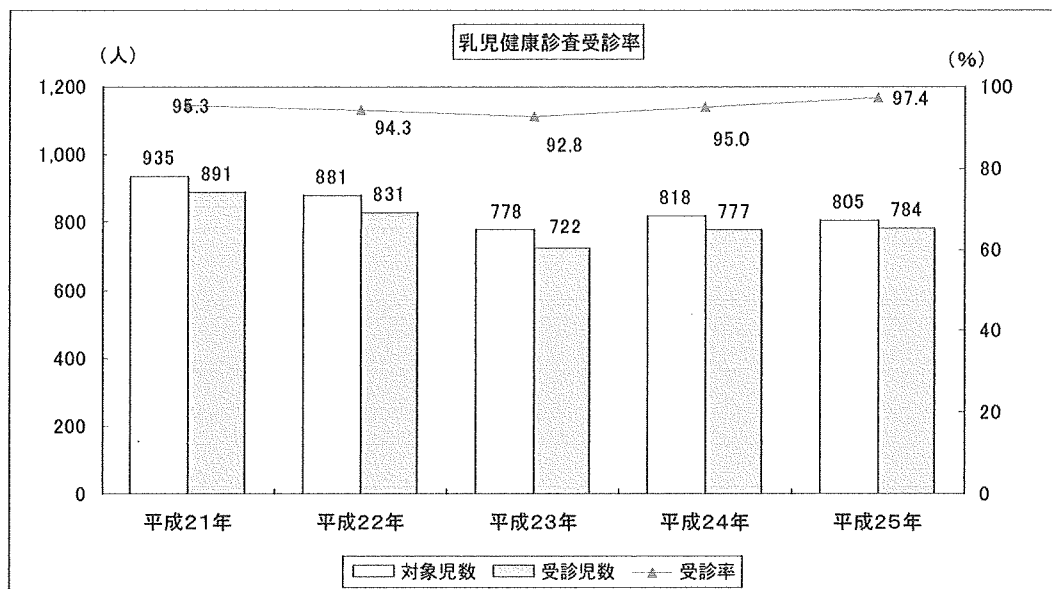
本市には3つの子育てサークルの団体があり、それぞれ就園前の親子に向け、仲間づくりや体操などの各種教室、季節の行事、読み聞かせなどを行っています。また、子育て支援をするボランティアグループもあります。

団体名	活動日時	活動場所	対象	活動内容	備考
やんちゃくらぶ	毎週木曜日	田富総合会館	就園前の子とその母親	リトミック教室 クリスマスコンサート	市外者も在籍。平成17年から企業の支援を受けている。ママネットやNPO法人との連携を深め、県内のサークルと交流を図る。
わんぱくくらぶ	毎週水曜日	田富総合会館	就園前の子とその母親	手遊び・読み聞かせ・工作・水遊び・お花見・運動会・クリスマス会・お別れ会	「ママネットやまなし」に加入。
にこにこKIDS	毎週金曜日	玉穂北部児童館	就園前の子とその母親	お話し会 自由遊び 季節の行事	
おんぶコアラ		中央市社会福祉協議会		みらいサポート中央の講習会等における託児。 まちかど保育園(イツモア内)にスタッフとして参加。 親子を対象にしたイベントの開催。	ボランティアグループ

3. 母子保健の状況

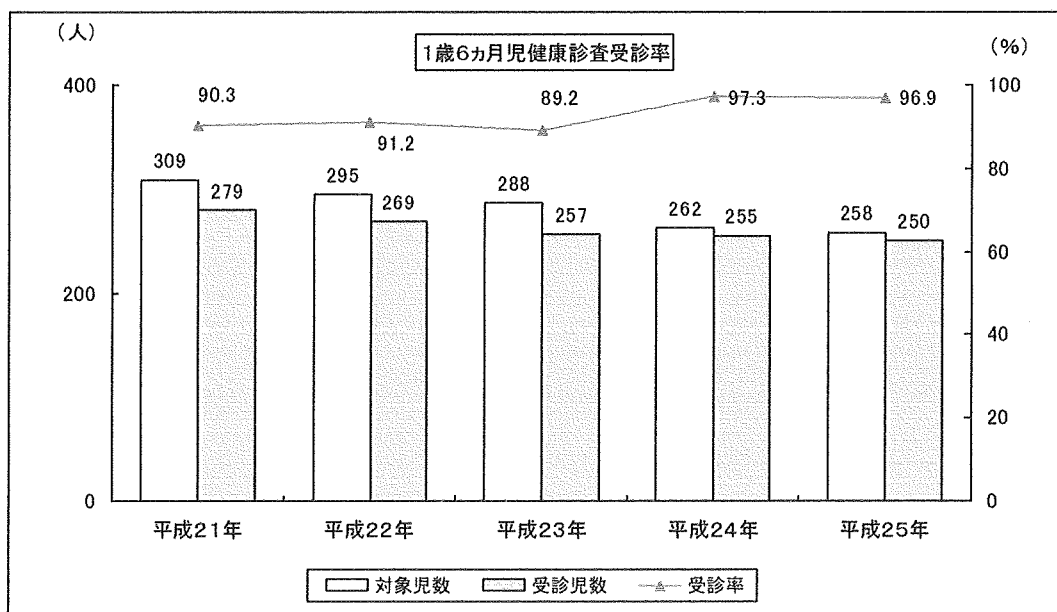
1) 乳児健康診査

本市の乳児健康診査の受診対象児は、平成21年の935人から平成25年の805人へと減少しています。受診率については95%前後での推移となっています。



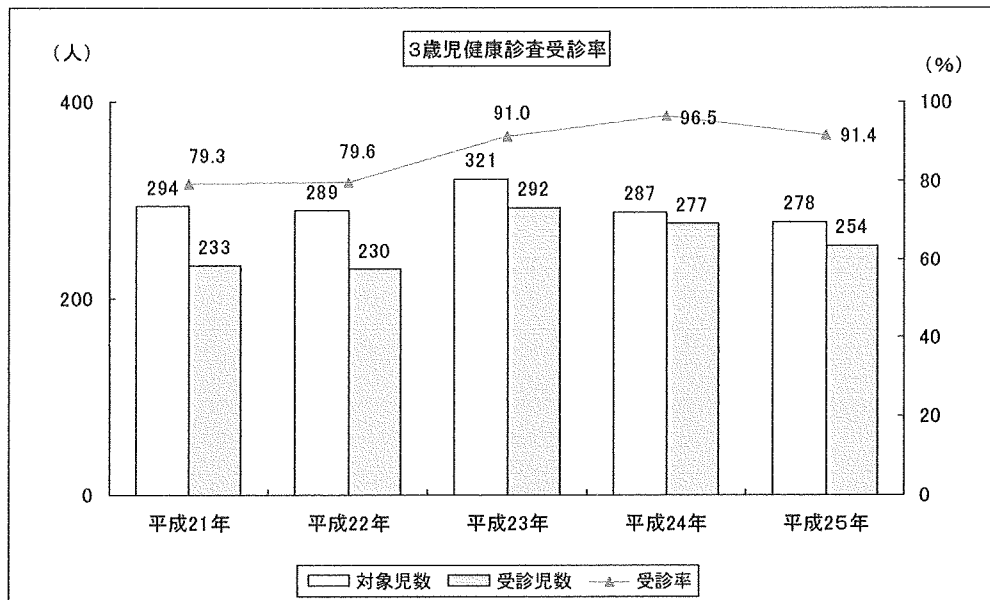
2) 1歳6ヵ月児健康診査

1歳6ヵ月児健康診査の対象児数は、平成21年の309人から平成25年の258人へと減少しています。一方、受診率は増加し平成25年には96.9%となっています。



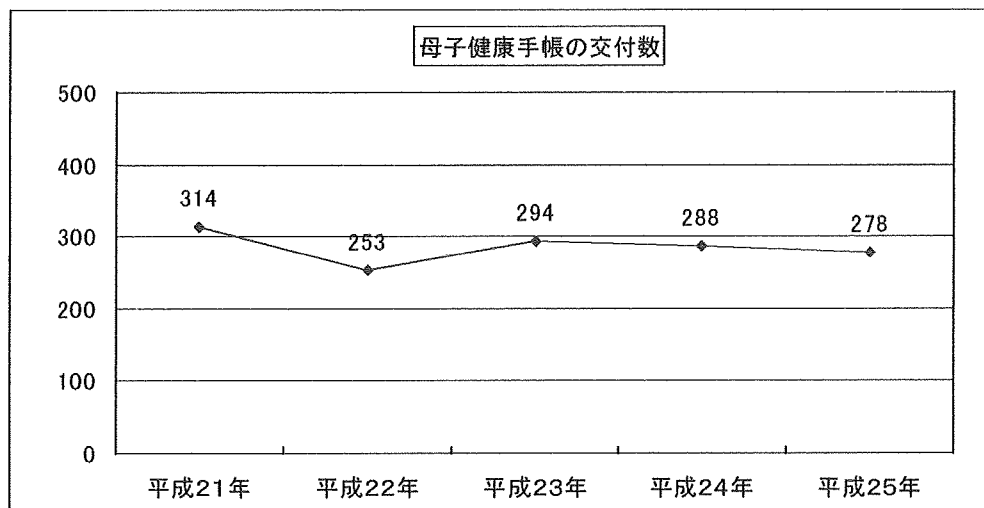
3) 3歳児健康診査

3歳児健康診査の対象児数は、平成23年には321人となり増加傾向でした。その後、減少に転じ平成25年は278人となっています。受診率については、平成21年の79.3%から増加基調で推移し平成25年は91.4%となっています。



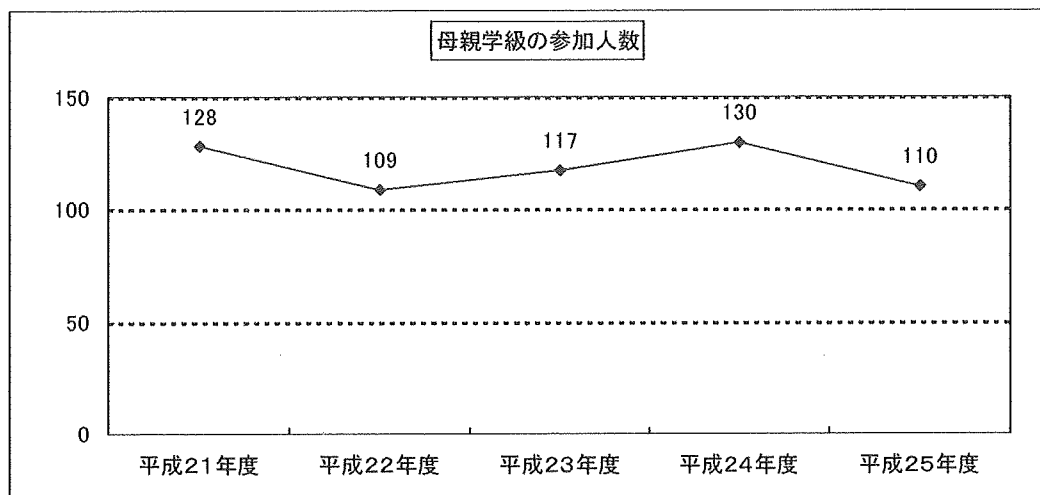
4) 母子健康手帳の交付

母子健康手帳の交付数は、平成21年の314人から減少傾向で推移しています。



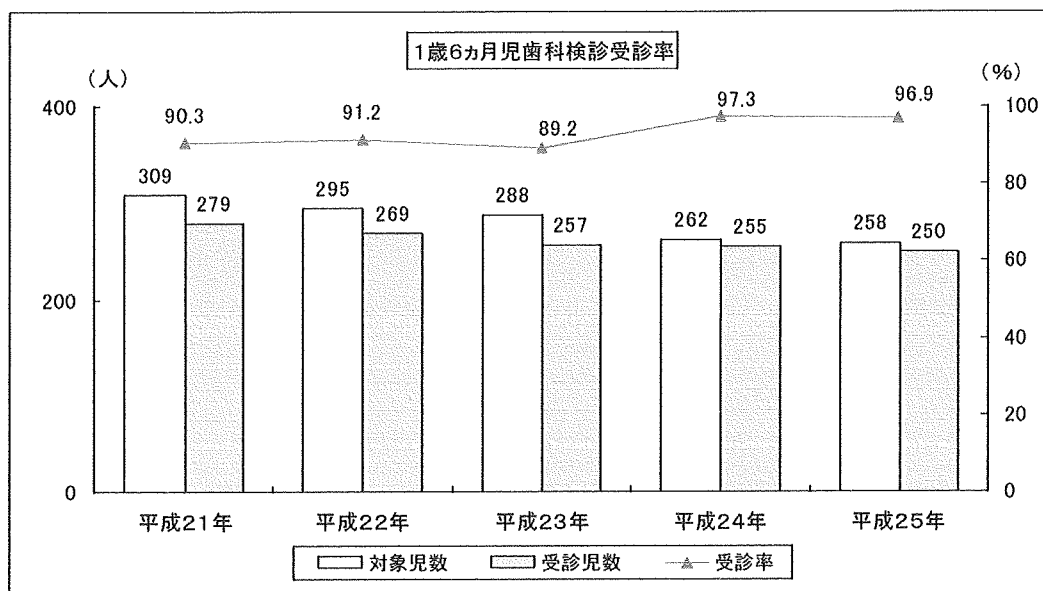
5) 母親学級の参加人数

母親学級の参加人数はここ5年間、概ね120人前後での推移となっています。



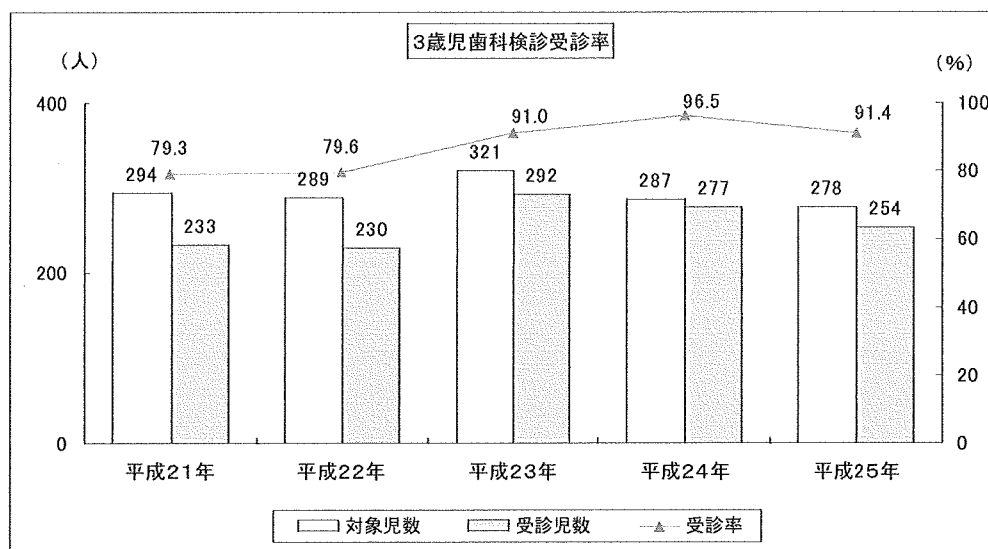
6) 1歳6ヵ月児歯科検診

1歳6ヵ月児歯科検診は1歳6ヵ月児健康診査と同時に実施しています。対象児童数は健康診査と同様に減少傾向にあります。受診率については、ここ2年間95%を超えています。



7) 3歳児歯科検診

3歳児歯科検診は3歳児健康診査と同時に実施しており、対象児数は健康診査と同様に平成23年以降、減少傾向になっています。受診率については、年々増加傾向での推移となっています。



4. 就学の状況

1) 小学校の状況

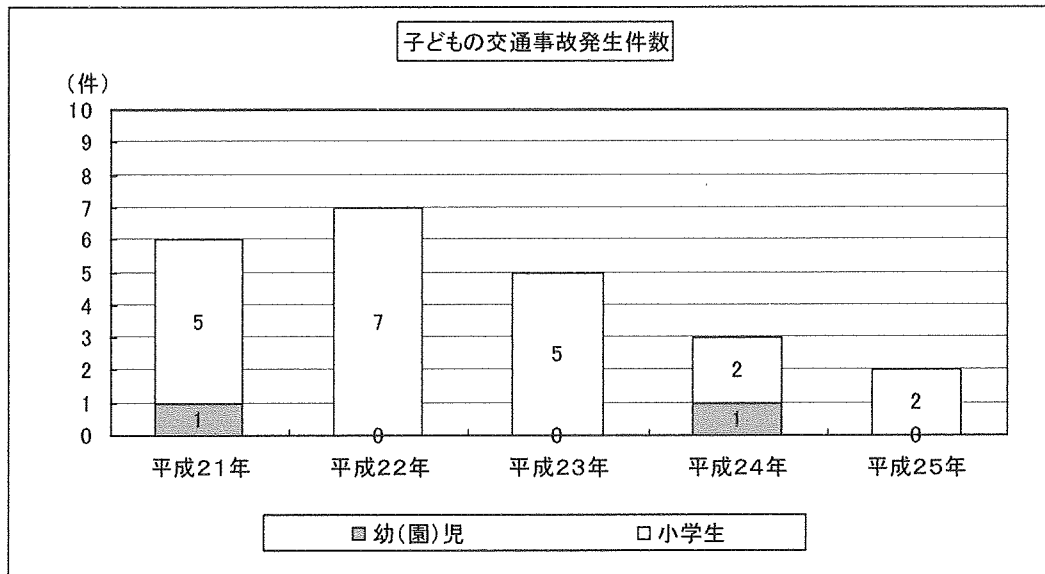
本市に小学校は6校あり、そのうち玉穂南小学校については山梨大学医学部内に下河東分校が併設されています。全市的には児童数は減少傾向にあり、平成21年の1,919人から、平成25年には1,730人となっています。なお、玉穂南小学校一校のみ児童数が増加しています。

小学校名	学級数など	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
三村小学校	学級数	14	14	14	14	13
	教員数(本務者)	21	22	23	23	21
	児童数	353	354	342	340	328
玉穂南小学校	学級数	11	12	13	14	14
	教員数(本務者)	17	17	18	20	20
	児童数	274	290	300	311	318
玉穂南小学校 下河東分校 (山梨大学医学部内)	学級数	1	1	1	1	1
	教員数(本務者)	2	2	2	2	2
	児童数	2	2	4	4	4
田富小学校	学級数	18	17	15	15	14
	教員数(本務者)	27	27	24	24	22
	児童数	456	431	397	399	363
田富北小学校	学級数	14	14	14	14	14
	教員数(本務者)	19	20	20	20	19
	児童数	350	349	328	318	312
田富南小学校	学級数	11	11	11	11	11
	教員数(本務者)	17	17	18	19	18
	児童数	244	236	231	207	214
豊富小学校	学級数	11	9	9	9	8
	教員数(本務者)	16	14	13	13	13
	児童数	240	209	207	198	191
合計	学級数	80	78	77	78	75
	教員数(本務者)	119	119	118	121	115
	児童数	1,919	1,871	1,809	1,777	1,730

5. 安全の状況

1) 子どもの交通事故発生件数

本市の幼（園）児、児童・生徒を合わせた子どもの交通事故発生件数は、平成 22 年の 7 件が最も多くなっています。



6. ニーズ調査の概要

本計画の策定に伴い市内の就学前児童および学童を持つ保護者へ子育て支援に関するニーズ調査（平成 26 年 2 月）を実施しました。アンケート結果の概要は以下の通りです。

1) 未就学児の保護者

(1) 子どもと家族の状況

○居住地区は「玉穂地区」が約 4 割、「田富地区」が 4 割強、「豊富地区」が約 1 割で、子どもの数は「2 人」が 4 割強となっています。調査票の回答者は「母親」が 8 割を超え、主な子育て者は「父母ともに」が 5 割を超えています。

(2) 子どもの育ちをめぐる環境

○子育てに日常的に関わっている人は、「父母ともに」が 6 割強、「祖父母」が 3 割、「母親」が 3 割弱、施設は「保育所（園）」が 3 割強、「幼稚園」が約 1 割となっています。

○日頃、子どもをみてもらえる親族・知人については、「祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した人が多く、「緊急時もしくは用事の際」が約 6 割、「日常的に」は 3 割強が回答しています。

(3) 保護者の就労状況について

①母親の就労状況

○母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」、「パート・アルバイト等で就労」約 3 割、「フルタイムで就労」約 2 割となっています。

○就労している母親の平均像は、1 週当たり「4～5 日」の労働、1 日当たり「7～9 時間未満」の就労時間、家を出る時間は、「6～8 時台」、帰宅時間は「16～18 時台」となっています。

②父親の就労状況

○父親の就労状況は、「フルタイムで就労（育休・介護休業中ではない）」が 9 割となっています。

○就労している父親の平均像は、1 週当たり「4～5 日」労働、1 日当たり「9～11 時間未満」の就労時間、家を出る時間は、「6～8 時台」、帰宅時間は「19～21 時台」となっています。

(4) 教育・保育事業について

○平日の定期的な教育・保育事業は 6 割弱が利用しており、そのうち約 6 割が「認可保育

所)、3割弱が「幼稚園」を利用しています。

○地域子育て支援拠点事業については、「利用していない」が約8割と多く、また5割強が「新たに利用したり日数を増やしたりしようとは思わない」と回答しています。

○土曜・日曜・祝日・長期休暇中とも、「利用する必要はない」が最も多くなっています。

○この1年間に、子どもが病気やケガで定期的な教育・保育事業が利用できなかったことは8割弱が「あった」と回答し、その時の対処方法は、「母親が休んだ」が最も多くなっています。

○保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことが「あった」が2割弱います。「あった」時の対処方法としては、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が9割弱と最も多くなっています。

(5) 職場の両立支援制度について

○育児休業の取得状況については、母親の約3割が「取得した(している)」と回答している一方、父親の約9割は「取得していない」と回答しています。

○育児休業を取得していない理由は、母親は「子育てや家事に専念するために退職した」が4割強と最も多く、父親は「配偶者、祖父母等にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が約4割と最も多くなっています。

○育児休業後の職場復帰した母親は約6割です。

○育児休業取得後の職場復帰の際に、短時間勤務制度を利用したかについては、母親、父親とも「利用したかったが利用しなかった(できなかった)」が最も多くなっています。理由として、母親は「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」を8割弱があげています。

(6) 育児休業給付、保険料免除の制度認知

○育児休業給付、保険料免除の制度認知については、「いずれも知っていた」4割弱、「いずれも知らなかった」3割強、「育児休業給付のみ知っていた」3割弱となっています。

(7) 子育ての環境や支援への満足度について

○中央市における子育ての環境や支援への満足度については、「普通」5割強が最も多くなっています。

2) 小学生の保護者

(1) 子どもと家族の状況

○居住地区は「玉穂地区」が4割弱、「田富地区」が5割弱、「豊富地区」が約1割で、子どもの数は「2人」が5割強となっています。調査票の回答者は「母親」が8割を超え、主な子育て者は「父母ともに」が5割を超えています。

(2) 子どもの育ちをめぐる環境

○子育てに日常的に関わっている人・施設は、「父母ともに」が約6割、「小学校」5割弱、「母親」が4割弱、「祖父母」が約3割となっています。また、子育てにもっとも影響すると思われる環境は、「家庭」が9割強、「小学校」が8割弱、「地域」が約3割となっています。

○日頃、子どもをみてもらえる親族・知人については、「祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した人が多く、「緊急時もしくは用事の際」の5割、「日常的に」は約4割が回答しています。

○子育てについての相談先が9割の人にあり、具体的には「祖父母等の親族」「友人・知人」が8割弱、「学校」が3割強となっています。

(3) 保護者の就労状況について

①母親の就労状況

○母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労」4割強、「フルタイムで就労」が約3割、「以前は就労していたが、現在は就労していない」約2割となっています。

○就労している母親の平均像は、1週当たり「4～5日」労働、1日当たり「5～9時間未満」の就労時間、家を出る時間は「6～8時台」、帰宅時間は「16～18時台」となっています。

②父親の就労状況

○父親の就労状況は、「フルタイムで就労（育休・介護休業中ではない）」が8割と多くなっています。

○就労している父親の平均像は、1週当たり「4～5日」労働、1日当たり「9～11時間未満」の就労時間、家を出る時間は「6～8時台」、帰宅時間は「19～21時台」となっています。

(4) 教育・保育事業について

- この1年間に、子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかったことは、約6割の方が「あった」と回答し、その時の対処方法は、「母親が休んだ」が最も多くなっています。
- 両親が休んだ場合の病児・病後児施設の利用については、「利用したいとは思わない」が約9割と多くなっています。利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する」6割弱、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」約5割となっています。
- 両親以外が看護した方の5割は、「できれば仕事を休んで看たい」と回答し、「休んで看ることは非常に難しい」と回答した人は3割弱となっています。休んで看ることは難しい理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が最も多くなっています。

(5) 小学校就学後の放課後の過ごし方について

- 小学校低学年時の放課後の過ごし方については、「自宅」が6割強、「習い事」が5割、「放課後児童クラブ」が3割弱となっています。
- 小学校高学年時の放課後の過ごし方については、「自宅」が8割弱、「習い事」が約6割、「祖父母宅や友人・知人宅」が2割となっています。
- 土曜、日曜・祝日、長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望については、いずれも「利用する必要はない」が最も多くなっています。

(6) 子育ての環境や支援への満足度について

- 中央市における子育ての環境や支援への満足度については、「普通」6割弱が最も多くなっています。